

高岡市教育将来構想検討会議・学校教育小委員会【第1回・第2回】 意見の整理

諮問事項	項目	委員からの意見内容	会議における事務局回答
小中一貫教育の推進に関すること	小中一貫教育推進に関する基本事項	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>■小中一貫は一小一中で考えるものであるのか。また、五位中学校区のみで考えるものであるか。</p>	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>○市内小中学校全体で小中連携教育の検討をお願いしたい。高岡市においては小中一貫教育が特別なものではなく、小学校と中学校の教員が相互に交流しながら9年間にわたり地域で子供を育てていくという高岡方式が実現すればありがたい。</p>
		<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <p>■小中一貫校のメリットは十分理解し、また必要性も感じる。富山市内での施設は分離しているが併設し連携している事例で、学力が高い。</p> <p>■知・徳・体の知を伸ばしたい子どもがいれば、小中一貫制度のなかで伸ばしてあげるべきである。</p> <p>■小中一貫教育が高岡の各地域で実施されれば地域ごとに特色が出る。</p> <p>■施設分離型であってもよいから小中一貫を進めるべき</p>	
	小中一貫教育の実施形態	<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <p>■5・4制や4・3・2制の導入は各校の一貫教育の進み具合によって導入していけばよい。</p> <p>■5・4制や4・3・2制の導入は転校生への対応を考慮すると混乱があるのではないか。</p>	
	小中一貫教育における教員の対応	<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <p>■小中一貫教育は、教員の多忙化を考慮すると、急激な変化は避け、無理のない形で進めるべきである。教員数の問題は、市独自で解決できる話ではないためである。</p> <p>■5, 6年制への教科担任制導入はよいが、中学校での教員不足を小学校の教員が対応できるかどうかは疑問。様々な課題も想定しておくべき。</p>	
五位中学校区整備の基本的な方向	五位中学校区統合小学校の整備関係	<p>【第1回高岡市教育将来構想検討会議】</p> <p>■既存の小学校での統合化、新しい学校を建設するのか。</p>	<p>【第1回高岡市教育将来構想検討会議】</p> <p>○新しい学校を建設する方向である。</p>
		<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>■統合によって通学が遠方となることへの対応が必要</p> <p>■統合小学校の整備スケジュールはどう考えているか。</p>	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>○スクールバスの活用を考えている。</p> <p>○地元との協議の中で、できる限り早期の着工をということであるが、財政的な準備が整っていない</p>
		<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <p>■建物整備を先行させずとも、既設建物を利用して早急に統合を進めるべきである。</p> <p>■五位中学校区の統合小学校については小中一貫校のモデル校としては是非早急に推進して頂きたい。現実的には、まず統合小学校を整備して、中学校の建て替えのときに、施設一体型とする方がよいと思う。小中一貫校のメリットは十分理解でき、また必要性を感じる。</p> <p>■五位中学校区の小学校の統合の話は約10年前に教育委員会からあった。当初は福岡小学校や国吉小学校も含めて協議していたが最終的に五位中学校区での統合にまとまった。</p>	

五位中学校区整備の基本的な方向	五位中学校区 統合小学校と 五位中学校の 連携又は一貫 化等	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現在の3つの小学校を統合して、小中の連携校にしたいということは人口動態を見てもそれで正解である。 ■統合小学校は五位中学校の近くに新しい校舎を建設して、連携を考えていくということか。 ■五位中学校区での小中連携は、小中一貫や義務教育学校とは異なるものかどうか。 	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>○敷地としては、隣接地として考えている。まずは統合小学校を出来るだけ早く建設して、その後に中学校の老朽化が著しくなったときに整備できればと考えている。</p> <p>○義務教育学校は9年間一貫させる新しいスタイルである。一貫教育は小中それぞれに校長も居り、従来の6年・3年を円滑に繋ぐ特別な難しい仕組みではない。義務教育学校も選択肢としては入ってくる。</p>
		<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■五位は小学校と中学校が近くなるため、乗り入れ教育を実施するべきである。 ■小中一貫教育を推進するにあたり6・3制や5・4制などの課題を解決するべきである。建物の整備とカリキュラムの問題は同時に進める必要がある。 	
	統合後の旧学校施設の取り扱い	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■統合後の考え方として、防災の観点から避難所あるいは何らかの施設として残しておく考え方もある。 	<p>【第1回学校教育小委員会】</p> <p>○現に避難施設として指定されていくことも踏まえて検討したい。</p>
望ましい学校の規模と配置	市域全体での 適正配置、統 合等に関する こと	<p>【第1回高岡市教育将来構想検討会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校の統合については、何度も話が上がっているが、地域から学校がなくなることに対する反発があって、話が止まる。新たな学校ができるというのであれば話も進むのではないかと。ただし、市の財政面でいかがか。 	
		<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高岡西部中学校下においても小中一貫教育を進めていくべき、川原小学校は非常に小規模であり、千保川の浸水域にあって防災上も適切ではない。 ■高岡市内には単級で20人弱/学年の小学校が複数あるが、スピード感をもって統合への対応が必要である。児童数が増えることによる摩擦も子どもの成長には必要である。平米小学校と定塚小学校の子どもは、体験する幅を広げるためにも統合が必要である。 ■平米小学校の運動会を拝見したが、児童数が少なく運動会として成り立たない状況である。定塚小学校と早急に統合するべきである。 	
その他	高岡市の教育課題と目指す方向性について	<p>【第2回学校教育小委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育は知・徳・体と言われているが、「幸せに生きる」には徳が重要で土台だと考えている。 ■高岡市総合計画の基本方針（教育関係）には、自他の生命や人権を尊重する心の教育とあるが、その他にも体験や部活動等を通じて得られるものもあるのではないかと。 ■道徳を意識して教育にあたるように努めている。人を認め、人から認められることで、人との関係が高められると考えている。 ■学校では徳が基本である。人間関係が大事であり、まずはあいさつである。 ■多様性を受け入れる人間作りが必要。教育では徳が一番大切と考える。 ■子どもが将来地元に戻ってくる教育が必要である。地域の良さを高校や大学に進学したときに実感できるように意識している。 	